日本健康教育学会アドボカシー研究会主催
地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター共催

メディア と 政治的 な アドボカシーの手法とは何か？

参加費
無料
定員：40 名

日　時

2018 年 7 月 13 日（金）
18 時～ 20 時

会　場

公益社団法人
地域医療振興協会 理事会室
東京都千代田区平河町 2-6-4
海運ビル 4 階

座長：中村 正和（アドボカシー研究会委員・理事／地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長）

基調講演（40 分）：
「男女共同参画活動の組織展開と政治家へのアドボカシーの一例」
野村 恭子氏（秋田大学医学部公衆衛生学講座教授）

話題提供（20 分）：
「受動喫煙防止法案にむけた国会議員への公開アンケート型ロビィ活動の実践報告」
齋藤 宏子（アドボカシー研究会委員 / 帝京大学大学院）

全体討論（50 分）：

指定発言（10 分）： 江川 賢一（アドボカシー研究会委員 / 東京家政学院大学教授）

趣旨・目的

昨年秋、日本健康教育学会アドボカシー研究会が設立しました。2014 年から 2016 年までの連続 3 年間で、日本健康教育学会がアドボカシーに関するセミナーを主催してきました。アドボカシーに関する日本の実践経験、そして海外の先生を招いてアドボカシーの理論と手法を学びました。参加者の多くはアドボカシーの重要性と実用性を感じ、もっと学びたいというコメントも多数寄せられ、本学会にアドボカシー研究会が設けられました。本研究会は、これまでのセミナーで得られた成果や関係者のネットワークを踏まえて、わが国に合った方法論を確立するために、アドボカシーについてより広く、深く学び、研鑽していくことを目指しています。

今回のセミナーは、本研究会が最初に開催するセミナーにあたります。セミナーの前半では、アドボカシー方法の中でも非常に重要なメディアと政治家へのアドボカシーについて、秋田大学医学部公衆衛生学講座教授野村恭子先生をお迎えし「男女共同参画活動の組織展開と政治家へのアドボカシーの一例」と題とし基調講演と、本研究会委員である齋藤宏子により「受動喫煙防止法案にむけた国会議員への公開アンケート型ロビィ活動の実践報告」と題した講演を行う予定です。後半は全体討論の時間を設けます。
アドボカシーの関心がある方のご参加を期待します。

参加方法 参加を希望される方は、日本健康教育学会ホームページ「メディアと政治的なアドボカシーの手法とは何か？」参加申込フォームから、お申込みください。E-mail でも受付ます。

✉ の場合：件名に「メディアと政治的なアドボカシーの手法とは何か？」セミナー参加希望　とし、氏名、所属、メールアドレスを記載し、日本健康教育学会事務局（nkkg@eiyo.ac.jp）までお送りください。

お問合先：日本健康教育学会事務局　〒350-0288　埼玉県坂戸市千代田 3-9-21　女子栄養大学食生態学研究室内
電話：049-2832310　Email:nkkg@eiyo.ac.jp　http://nkkg.eiyo.ac.jp/